

栃木日東工器株式会社





技術で、人を想う。

栃木日東工器株式会社は東証プライム市場上場の「日東工器グループ」の一員です。豊富な設備と専門性の高い技術力で、多彩な製品の生産を行っています。

空気・水・油・薬液などさまざまな流体の配管を素早く、自在に接続・分離する、迅速流体継手「カプラ」をはじめ、静かでクリーンな流体を供給するコンパクトな構造のポンプと、その技術を応用した「MEDO」ブランドの医療機器を含む幅広い製品群の生産に対応し、活躍の場を広げています。さらに近年、脚光を浴びている燃料電池自動車の燃料となる高圧水素を供給・充てんする「HHV カプラ」を日本で初めて生産しました。

「技術で、人を想う。」のスローガンの下、お客さまの視点に立って、モノづくりへの誇りを持って生産に励み続けます。

Top Message

人と環境にやさしいモノづくりを目指す

当社は1977（昭和52）年の操業開始以来、機械加工を中心とした豊富な技術力によって、40余年にわたって社会に貢献する機器の数々を生産し続けてまいりました。

私たちの目指す会社の姿は、使う人の視点に立って作業をスムーズにする「人を想う」技術で、産業界の発展や豊かな人生に貢献することです。社会の新たなニーズを捉え、技術や品質、サービスのレベルを、世界市場からこれまで以上に認めていただくように高めていくのが、私たちの使命と考えています。

これからも、日東工器グループ最大の生産能力を有する主力工場として、人と環境にやさしいモノづくりを目指し、全社一丸となって生産業務に励んでまいります。

代表取締役社長
千葉 隆志



About TOCHIGI NITTO KOHKI

「人を想う」生産を支える技術と品質

独創的な技術で 省力・省人化を実現

自社開発の自動化設備を有し、部品の加工から製品の組み立て、完成品検査に至るまで、合理化された一貫生産システムを構築しています。また、最大60時間の自動運転機能を有する「カブラ」の自動組み立てロボットをはじめ、高品質で大量生産を可能にする自動化・省力化の生産技術を絶えず追求しています。



生産性向上に向けた 「改善力」

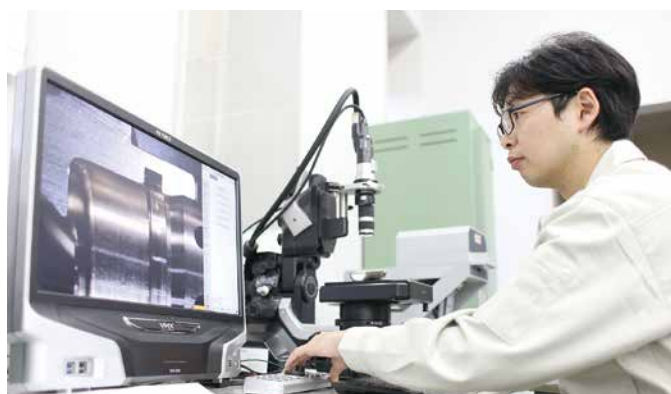
全員参加の改善活動で「品質・納期・コストダウン」のさらなるレベルアップを追い求めています。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を高水準で維持管理し、部品加工から製品組立、検査、梱包、出荷まで一貫した生産を行っています。

入念な厳しい検査が 高品質の証

世界のあらゆる地域、あらゆる作業環境下にて、100%の機能を発揮するよう品質へのこだわりを持ち続けます。

厳しい環境下での使用を想定して品質の基準を求め、さまざまな作動状況における基本性能のチェックを行っています。



Product Line-up

豊富なバリエーションの製品群で産業界に貢献

詳細は
こちら ▶



迅速流体継手「カブラ」

さまざまな流体の配管を素早く接続・分離できる継手です。約 25,000 種類におよぶ豊富なバリエーションで、自動車、電気製品、半導体、食品など幅広い業界で使用されています。お客様のニーズにあわせた特注品にも対応し、確かな技術力を有しています。

用途例 空気工具の配管、工場の圧縮空気配管、金型、油圧機器、半導体製造装置など

高圧水素充てん用
迅速流体継手
HHVカブラ



コンプレッサ/ポンプ

リニアモーター駆動フリーピストン方式のポンプをはじめ、低電力かつコンパクト、クリーンな流体を供給するポンプは、幅広い業界に向けて安心と信頼を提供します。

用途例 内視鏡、吸入器、インクジェットプリンターなど

コンプレッサ/
ポンプシリーズ



医療機器

クリーンなエアを供給し、高い耐久性を有するポンプを搭載するメドブランドの医療機器は、皆さまの健康維持に貢献します。

用途例 血行促進、疲労回復など



ドクターメドマー
DM-4S



NITTO KOHKI GROUP

売上高 270億72百万円 (2024年3月期)
従業員数 1,014名 (2024年3月末)
事業内容 省力・省人化機器の開発・製造・販売

製造拠点(工場) 山形・福島・栃木・タイ
国内営業拠点 東京・大阪・名古屋など 国内18拠点
海外営業拠点 アメリカ・ドイツ・オーストラリア・中国など 海外10拠点

日東工器株式会社

設立 1956 (昭和31) 年10月22日
資本金 18億5032万円
東証プライム市場：証券コード6151
所在地 東京都大田区仲池上2-9-4 (本社・研究所)

主な製品群 迅速流体継手「カブラ」
機械工具
電動ドライバ「デルボ」
ポンプとその応用製品 (医療機器)
建築機器 (ドアクローザ)

栃木日東工器株式会社



会社概要

| | |
|---------|--|
| 会社名 | 栃木日東工器株式会社 |
| 代表取締役社長 | 千葉 隆志 |
| 設立 | 2000年(平成12年)5月1日 |
| 資本金 | 1億円 |
| 従業員数 | 90名 [143名※] (2024年3月末) ※含む臨時雇用者 |
| 事業内容 | 迅速流体継手「カブラ」、ポンプ、医療機器の製造 |
| 株主構成 | 日東工器株式会社 100% |
| 売上高 | 54億15百万円(2024年3月期) |
| 所在地 | 〒329-1311 栃木県さくら市氏家3473-2 TEL : 028-682-8851 FAX : 028-681-7038 www.nitto-kohki.co.jp/tochigi/ |



栃木日東工器
ホームページ

【交通アクセス】

JR東北本線 氏家駅(東口)からタクシーで10分(約3.8km)

日東工器

社名の由来

日東工器グループ創業者の
技術に対する想いを表現しています。

日本の東部にあり、省力化を願った**工具**を作ることを念頭に、創業者の御器谷俊雄の名前から一文字を取って名付けられました。

また漢字の会社名表示は、左右対称の文字で構成されています。会社が成長する際、内容が充実し、バランスのとれたユニークな会社になることを願って定めたものです。

社是社訓

社是の「開発」には、「社会に貢献する製品」「販売市場」「人材」「組織管理体制」4つの意味が含まれています。これらの開発に全力を尽くすことが、企業としての永続的発展を保障する、すなわち「保険」であるということです。

| | |
|------|---|
| 社 是 | 開発は企業の保険なり |
| 社 訓 | 創意を発揚し技術を蓄積しよう 鋭気を涵養し活力を蓄積しよう 誠意を尽し信用を蓄積しよう |
| 経営方針 | 社会への貢献 従業員の幸福 会社の発展 |

社 是
関は企業保険なり

社 訓
創意を発揚し技術を蓄積しよう
鋭気を涵養し活力を蓄積しよう
誠意を尽し信用を蓄積しよう

経営方針
社会への貢献
従業員の幸福
会社の発展

沿革

| | | |
|-------|-----|---|
| 1977年 | 6月 | 日東工器 氏家工場として操業開始 |
| 1979年 | 5月 | 医療用具の製造許可を取得 |
| 1981年 | 1月 | 「UL 規格許可工場」認定取得 |
| 1985年 | 10月 | 「バルクカブラ」が高圧ガス保安協会認定第一号となる |
| 1990年 | 11月 | TPM活動(Total Productive Maintenance) キックオフ |
| 1994年 | 10月 | TPM優秀賞を受賞 |
| 1995年 | 11月 | 「ISO9002」認証取得 |
| 1997年 | 4月 | NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) へ「プロワ」生産を移管 |
| 2000年 | 5月 | 栃木日東工器株式会社を設立 |
| 2000年 | 10月 | 氏家工場を栃木日東工器に営業譲渡し分社化 |
| 2001年 | 11月 | 「ISO14001」認証取得 |
| 2003年 | 1月 | NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) へ「カブラ」生産を一部移管 |
| 2003年 | 11月 | 「ISO9001」格上げ認証取得 |
| 2004年 | 6月 | PI活動(Productive Innovation) キックオフ |
| 2014年 | 9月 | 「ISO13485」認証取得 |
| 2017年 | 12月 | 事務所棟竣工 |

環境への取り組み

社会や地域の皆さまとともに成長する企業でありたいと考えています。会社周辺の清掃活動や障がい者支援など、地域社会に寄与するとともに、持続可能な社会の実現に貢献します。



環境基本方針

1. 当社は、事業活動の遂行に当たり、環境保全の基本理念に則り、地球環境への影響に配慮し、当社及びサイト内の関連会社が一体となり環境保全活動を推進します。
2. 当社は、法規制や社会的約束を遵守し、資源の有効活用と環境への負荷軽減のため、ISO14001に準拠した環境マネジメントシステムにより継続的な環境管理と環境保全に努めます。
3. 当社は、日東工器株の開発製品と技術を通して、地球の環境保全に役立つ製品の普及に努めます。
4. 当社は、事業活動が環境に与える影響を評価し、著しい環境側面を特定し、環境目的・目標を通して環境汚染防止と資源保護のために次の事項に取り組みます。
 - (1) エネルギー、紙、油その他資源の有効利用を推進します。
 - (2) 紙、油、廃プラ、廃木材等のリサイクルを推進します。
 - (3) 有害物質の放出事故が発生しないよう関連設備の管理を徹底します。
 - (4) ムダの排除を意識した運営管理を推進します。
 - (5) 地球及び人体への影響が懸念される環境管理物質の管理を推進します。
5. 内部環境監査を通し、環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善に取り組みます。
6. 地球環境保全の意識高揚を図るための教育を実施すると共に、地域などでの身近に取り組める環境保全活動に参加します。
7. この環境方針書は、社外にも公開します。

2022年4月1日
工場長
高橋 政樹

受賞

TPMチャレンジ賞受賞 製造業の改善活動に大きな成果を収めた企業として表彰

認証取得

ISO9001 認証取得 認証番号: JQA-I039
 ISO14001 認証取得 認証番号: JQA-EM1934
 ISO13485 認証取得 認証番号: JQA-MD0148